

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

大企業の半分以上が赤字

Q : 先ごろ国税庁から発表された法人税の申告状況等によると、黒字申告割合が過去最低だったそうですが、その割合はどれくらいでしょうか。

A : 平成10事務年度の黒字申告割合は、31.6%と過去最低の水準となっています。

【解説】

国税庁はこのほど、平成10事務年度の法人税課税実績及び実地調査状況を取りまとめました。

それによると、申告件数2,663千件のうち、黒字申告割合は31.6%で、前年度に比べて3%の低下となっています。申告所得金額は33兆7,837億円（対前年度10.5%の減少）、申告欠損金額は31兆8,537億円（対前年度32.1%の増加）と過去最悪の様相を呈しています。

また、177千件について実地調査が行われ、このうち何らかの非違があったものは130千件で、その申告漏れ所得金額は過去最高の2兆2,730億円でした。そのうち仮装・隠ぺいなどの不正計算があったのは45千件で、その不正発見割合は25.3%となっています。

なお今回は、中小企業から大企業まで全ての法人に関する資料と、国税局所管法人で基本的に資本金1億円以上の大企業のみに関する資料の2つが発表されています。

国税局調査部所管の大企業の黒字申告割合は47.9%となっています。大企業の黒字申告割合が50%の大台を切ったのは、昭和51年以来初めてのことです。

